

22.5.20
北中(朝・夕)
国際交流課

中村学長

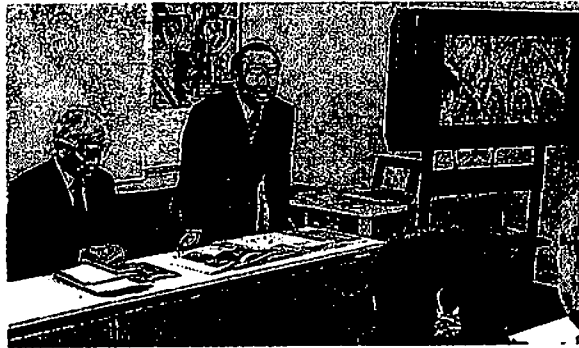
「研究で真価を發揮」

金大 フレスコ壁画施設設置

金大は十九日、同フレスコ壁画研究センターの大角間キャンパスにフレスコ壁画施設を設置した。今後四年間で、イタリア南部に点在する中世壁画群を体系的に調査、記録する。

ター長を務める。二〇一四年までに、国立フレスコ壁画研究所と、学術的価値が高い壁画を詳細に調査、得られたデータを映像化した「デジタルアーカイブ」を作る。これまでに完成したアーカイブは、二十九日に同キャンパスで開かれるシンポジウムで披露される。問い合わせは、金大フレスコ壁画研究センターへ電話076(264)5550へ。

(山本真士)



センターの事業概要を報道陣に説明する宮下教授(左)と金大フレスコ壁画研究センターで

中村信一学長は、センターの看板の除幕式で「文理融合の研究で大学の真価を發揮したい」とあいさつした。

イタリア・フレスコ壁画

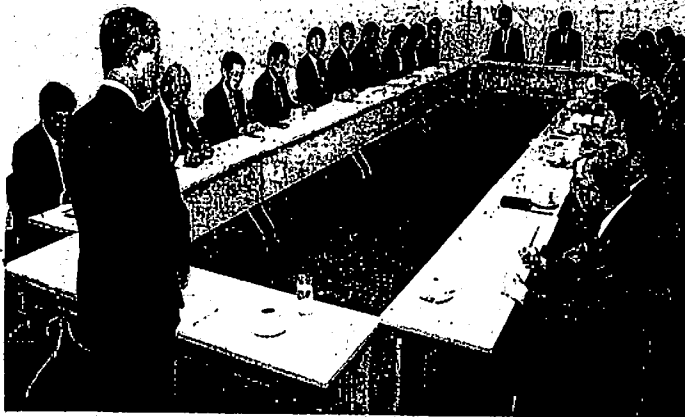
10月に文学セミナー

■ 県スウェーデン協会総会 ■

翻訳家の菱木晃子氏招き

石川県スウェーデン協会の2010(平成22)年度総会は19日、金沢市の北國新聞会館で開かれ、10月に北欧文学翻訳家の菱木晃子氏を招き「スウェーデン文学セミナー」(仮称)を開催することなど事業計画案を承認した。

菱木氏は昨年、スウェーデン国王から北極星勳章を受章した。セミナーはスウェーデン大使館(東京)の後援事業として開催し、ノーベル文学賞を受賞したセルマ・ラーゲルレーヴの代表作「ニルス・ボグ」のふしぎな旅の解説や、菱木氏が翻訳した100冊以上のスウェーデン図書を展示する。



文学セミナーの開催などを決めた県スウェーデン協会の総会

来月、寄せ植え教室

県日英協会 11月に音楽公演

このほか、8月に開催される第23回JAPANTENT(北國)の友好親善に向け協力を「お願いしたい」とお願いした。

新聞社特別協力)で世界の料理屋台に運営協力する。

総会の冒頭、飛田秀一会長が「地道に活動を続けてきており、今後スウェーデンとの友好親善に向け協力を「お願いしたい」とお願いした。

から、日本と英国の懸け橋として活動する協会への支援、協力を求めた。

新参与の藤井義弘、弘真、藤井義長もあいさつした。そのほか、人事異動などに伴い、新たに役員となったのは次の各氏。

▽参与 高村律伸(金沢市議会議員)、寺田秀一(金沢市長)

石川県日英協会の2010(平成22)年度総会は19日、金沢市の北國新聞会館で開かれ、6月に北國新聞交流ホールで英国の代表的な寄せ植えやフラワールアレンジメントの教室を開催することなどを決めた。

教室では、同協会員による英国の国花であるバラの展示やガーデンニング相談会も予定す

総会では、飛田秀一会長が18年にわたる協会の歩みを振り返りな

韓国で新素材紹介

小松精練 7年ぶりに展示会

「テラシ」に加え、アウも計画したい」として、ター用の「テクノビ」ている。屋上緑化基
集めた。同社は「韓」などグループ企業の商
品も出展した。20日ま
た。今後の定期開催
で。

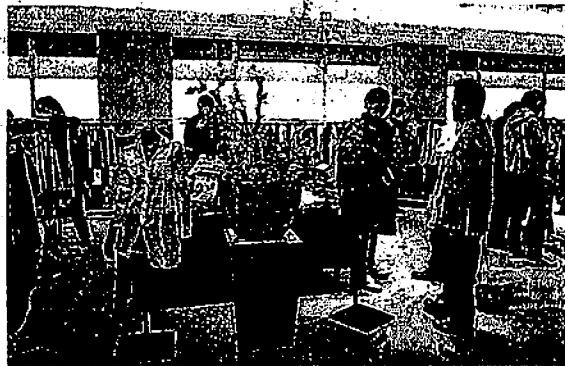
22.5.20
北国(朝・夕)
国際交流課



小松精練(能美市)の韓国展示会Ⅱ写真Ⅱは18日、韓国・ソウル市の高級ホテルで始まり、現地アパレルにドレス向け新素材「ハニービ」など約600点を紹介した。初日は22ブランドの約80人が来場した。

22.5.20
北中(朝・夕)
国際交流課

ソウルで知名度向上狙う



韓国アパレルの関心を集めた展示会
＝ソウル市内で(小松精練提供)

小松精練が単独展示会

小松精練(石川県能美市)は十八日から、韓国ソウル市内のホテルで単独総合展示会を開いている。二十日まで。

ソウルでの展示会は、二〇〇四年六月以来、六年ぶり。同社はアジア重視の姿勢を打ち出しており、市場調査と知名度向上が狙い。こ

中国版パンフ作成
北陸広域観光推進協
北陸広域観光推進協
議会は19日、金沢市の金沢ニューグランドホテルで総会を開き、中国版の観光パンフレットを作成するなど今年度事業計画を決めた。韓国メディアや旅行代理店の招聘など海外事業を強化し、誘客を進める。国内事業では首都圏での観光説明会を開くことなどを確認した。

22.5.20
北国(朝・夕)
国際交流課

とし二月の「ブルミエール・ピジョン」(PV)に出展した製品や素材約六百点を出品。最高級ホテルの最上階を会場に商談を進めた。初日は地元のアパレルを中心に二十二社(ブランド)が来場。PVでも高評価を得たエレガントでドレスシーな「ハニービ」などが人気を集めた。グループの高機能建材「グリーンピ」や水着も展示した。好評なため、年二回程度の定期的な開催を検討する。

タイ拠点は7月に 澁谷社長 一問一答

澁谷社長との主なやりとりは次の通り。

―売上高二千億円を
目指す理由は。

当初、二〇一一年三
月の創業八十周年に合
わせ同年六月期の達成
を目標としたが景気後

退で遅れた。成長を社
員全員が前向きに考え
夢を持ったためにも経営
計画として策定する。

―海外拠点整備の進
み具合は。

タイではサービス拠
点となる駐在員事務所
の設立申請をしており
七月中旬にはスタート
する。提携した国内企
業がバンコクに置く現
地法人の一角を借り、
現地の工場に納入した
ポトル充てん機などの
保守管理をする。スタ
ッフは日本人二人と現
地の二、三人を配置し、
営業にも役立てる。

―中国は。
天津周辺には韓国な

どの半導体メーカーが
集まっており、サービ
ス拠点を検討してい
る。来年中にも設立し
たい。受注が好調なL
ED関連など半導体製
造装置の強化につなげ
る。上海でも二、三年
後の開設を目指す。

―景気の現状と見通
しは。

一、二三月ごろにあっ
た一番底の心配はなく
なった。中国などアジ
アの成長に引っ張られ
て日本経済もよくなっ
ている。米国でも、延
期されていた約十億円
の受注が決まり、消費
が回復してきた。た
だ、経済全体がリーマ
ン・ショック前の水準
に戻るには、あと一、
二年かかるだろう。



◎売上高一〇〇〇億円達成に向け、貢献が期待さ
れる半導体製造システムの生産現場。◎計画の構
想を話す澁谷社長。いずれも浜州市の澁谷工業で

だ、経済全体がリーマ
ン・ショック前の水準
に戻るには、あと一、
二年かかるだろう。

バンクーパーに現地法人

金谷酒造店(石川県白山市)は来年、カナダでの吟醸酒販売拡大などを目的にバンクーパーに現地法人を設立する。石川県産食材や、九谷焼の酒器なども持ち込み、高級料理店向けに販路を開拓。五年後には売上高を現在の十倍以上の五千万円に引き上げる。

カナダのほとんどの州では、州政府全額出資の公社が酒類の小売りを一括して行う。酒造会社が

金谷酒造店 吟醸酒販売へ

対象地域で酒類を販売するには、各州公認の仲介業者を通して公社に卸す方法しかない。ハードルの高さから、現地で販売される酒は大手メーカー製がほとんど。金谷酒造店は、併設するフランス料理店に、モントリオールで仲介業を営む金沢市出身の男性が、食事に来たことをきっかけに、三年前から現地のレストラン向けに大吟醸を輸出。販売

量は右肩上がりで、現在七百二十リットルで年間千本程度になっている。カナダ事業強化は、日本の酒消費量が縮小傾向の中、「ライバルの参入が少なく、需要開拓の余地がある」(金谷秀久社長)ため、各地への移動に便利なバンクーパーを拠点に選び、一月から社員一人を派遣。市場調査など販路開拓の準備を始めた。

会社設立後は、モント

高級料理店向け開拓

リオールやバンクーパー、カルガリーを中心とした大都市で営業をかける。顧客へのアピール力を高めようと、九谷焼や輪島塗の酒器のほか、県産食材なども商材としてそろえる。

一方で、生産量の少なから希少なカナダワインやメープルシロップなどを輸入し、日本の飲食店への提案力強化に役立てる。

金谷社長は「カナダでは吟醸酒の流通量はまだまだ少ないが受け入れられるはず」と話している。

(網信明)

ベトナムに訪問団派遣

富山薬連
 来年2月 同時にインドも検討

富山県薬業連合会(薬連)は19日、来年2月にベトナムに訪問団を派遣することを決めた。日本貿易振興機構(シエトロ)の派遣事業に申請し、会員企業が現地の製薬メーカーと連携して医薬品の生産拠点を新設することなどを旨とする。

シエトロによると、ベトナムでは国内産業が成長途上であり、技術発展のため積極的に外資の参入を受け入れられている。同国への生産拠点を設置で、東南アジア他国にも進出しやすくなるという。

富山県内の医薬品メーカーは、独自技術を生かした現地生産を検討しており、現地企業との業務提携や合弁会社設立が想定される。シエトロ富山と同ホーチミン、ハノイ事務所が政府関係者や製薬企業などへの訪問を手配する。同時にインドへの訪問も検討している。

19日開かれた理事会では、10月に予定するイタリアとスイス・バーゼル訪問の計画も示された。23日から9日間の日程で、イタリアではボローニャ、フィレンツェ周辺の製薬企業を訪問。ローマでイタリア製薬工業会との交流会を開催する。富山県と薬連の代表はスイス・バーゼルの州知事も表敬する予定。理事会では、理事数を52人から36人に減らすことも決まった。

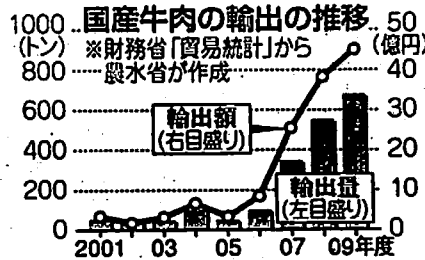
宮崎県で口蹄疫の第一例が確認されてから二十日で一カ月。この間、国産牛肉の輸出の大半が止まったままだ。「霜降り和牛」など、安全と味を武器に海外の富裕層を狙った輸出戦略が当たり、実績を伸ばす。だが、口蹄疫問題が長期化すれば、市場開拓や、海外で定着したブランド力に冷や水を浴びせかねない。

(大野孝志)

牛肉は、米国や豪州からの輸入農産物と思いがちだが、日本は輸出もしている。農林水産省の資料などによると昨年度、二十九国・地域に向けて六百七十七トン、輸出金額は四十五億円に上った。四十七万トンを超える輸入に比べればわずかだが、輸出は量・額ともここ数年、増え続けている。二グラフ参照。冷凍船便のベトナム(四百二十トン)や、冷蔵航空便の香港(百二十トン)、米国(八

口蹄疫 高級肉輸出ストップ1ヵ月

和牛ブランドにも影



十トン)がお得意様だ。北米や香港などには、相手国が衛生管理状況を認めた食肉センターからしか輸出できない。認定センターは鹿児島、宮崎など計四カ所だけで、これら地元ブランドの牛肉が多く輸出される。国産の中でも高価な和牛の対米輸出を一九九〇年に始めたのは、JA全農ミートフーズ(東京)。最初は商業ベースとは言えない程度だったが、日



2009年9月、香港で開かれた日本産牛肉の試食イベント(JA全農ミートフーズ提供)

本食ブームに乗って徐々に増えた。担当者は「和牛の安全性や味は世界に誇れる。各国の富裕層の需要が大きい」と語る。政府は輸出再開を図り、米国やアジア諸国に輸出再開を働きかけた。右

香港は再開 北米などメド立たず

同上がりで伸びてきた。そこへ、今回の口蹄疫問題。口蹄疫が発生していないことを輸入条件にしている国もあり、農水省は輸出に必要な検査証明書の発行をストップ。牛肉の輸出が四月二十日から全面停止した。豚も同様だ。香港とマカオは、家畜の搬出制限区域外の牛、豚肉に限って再開したものの、ほかは一切受け入れておらず、再開条件を示してもいない。農水省動物衛生課は「再開条件は各国で異なる。口蹄疫が終息して「清浄国」に指定されても、各国が独自に現地調査などをし、再開を判断するだろう」とする。政府が検討中のフレンチ接種でウイルスを弱めるのに、「不透明な先行きも牛の殺処分は避けられない。国際獣疫事務局から、日本がワクチンを使っていない「清浄国」に再指定されるには、処分をすべて終えてから三カ月間、新たな発生がないことが確認される必要がある」と、長時間が必要。輸出再開までは、さらに長い時間がかかる。輸出分は国内消費に回る。「不況で国内の消費が良くない。高級部位の多い輸出分まで売ると、相場に影響が少なからず出るのでは」(食肉販売業者)との声もある。〇七年五月、米国へ和牛の輸出を始めたJA全農(宇都宮市)では、昨年度の輸出額は二千三百万円、栃木県内のJAを通じて農産物輸出額の七割を占める。PRを担う、とちぎ農産物マーケティング協会(同)の担当者も「輸出の見通しが立たない。ようやく米国内で一定のブランドを確立できてきたのに」と不透明な先行きを心配している。

日に1期目の折り返し点となる就任2周年を迎える台湾の馬英九總統は19日、總統府で記者会見した。總統は「4年であろうと8年であろうと、任期中に中国大陸と統一問



19日、台北の總統府で記者会見する馬英九總統 AP

台湾總統「黄金の10年築く」

対中関係発展など
就任2年ヒシヨン

【台北—栗田秀之】
台湾の馬英九總統は十九日、就任二年となる二十日を前に記者会見し、中国との関係の平和的な発展などを盛り込んだ政策ヒシヨン「六国論」を表明、残りの任期二年や、再選を果たした場合の四年を含めて「これから

要因になっている。

これに対し、馬總統は「一部の民衆が心配している」と認めつつも、この2年間に中国と交わした12の協議文書は主権を全く損なっていない」と改めて強調した。

「黄金の十年」を築く」と強調した。

六国論は中台関係の平和的發展のほか、産業分野での研究開発、台湾の特色を持つ中華文化の振興、環境保護、憲法順守、福祉の充実—から成っている。馬總統は「台湾海峡の和平秩序を築いた上で、内政改革を推進する」と述べた。

中国との関係改善を

進めた馬總統は今後の対中関係について「任期中は統一問題は話さない」とあらためて強調、中国の胡錦濤國家主席との会談に関して「排除しないが、時期ではない。計画もない」と述べた。

満足度39%に回復
台湾紙世論調査

【台北—栗田秀之】
台湾紙聯合報は十九日、馬英九總統の就任二年に合わせて世論調査結果を掲載した。選挙戦で与党国民党が四連敗した後、二月に過去最低の27%まで落ち込んだ満足度は39%に持ち直した。ただ不満足度は43%で、満足度を依然上回っている。

22.5.20
北中(朝・夕)
国際交流課

【台北共同】台湾の「最終的に統一」に関する行使せず(一)に基づき馬英九総統は19日、台北の総統府で、就任2周年の内外記者会見を開き、2012年総統選で再選された場合も含めて任期内には「大六つの大方針に基づいては」当面棚上げする

中国と統一協議せず

陸(中国)との間で統一に関するいかなる問題も協議しない」と明らかに表明した。馬総統は会見で、就任の際に打ち出した「三つのノー(独立せず、統一せず、武力を行使せず)」に基づき、今後、「台湾の黄金の10年を切り開きたい」と表明した。6月までを目標としている「経済協力枠組み協定(ECSFA)」の緊密化を急速に進める馬政権の政策が、統一せず、武力を行使せず(一)に基づき、対中政策は変更しない」と強調。中国側が望む「二国二制度による平和統一」など中台間で争いのある問題については「当面棚上げする」と説明した。

台湾・馬総統 就任2周年会見 双方が「当面棚上げ」



19日、台北の総統府で記者会見する馬英九総統 (共同)

に相当(調印の後、「平和協定」締結を目指す政治協議が始まる」との観測は否定。「ECSFA調印後も数年間は、投資保障の問題など多くの経済問題を協議」と述べた。中国の胡錦濤国家主席ら指導者との会談の可能性についても「排除はしないが、今は何の計画もない」とした。

8番らーめん入居ビル炎上

タイ騒乱日本人社会に衝撃

【バンコク＝吉枝道生】タイの騒乱で十九日午後、「反独裁民主統一戦線(UDU)」が占拠地中心部にあった大手百貨店「バンコク伊勢丹」や、ハチバン(金

沢市)が現地でフランチャイズ展開する「8番らーめん」の店舗も入る商業施設「セントラル・ワールド」が炎上。日本人駐在員が多く住む地域にもデモ隊は日本の銀座にあたる

が繰り出し、日本人社会にも不安と衝撃が広がった。●面参照
消火活動も困難を極めていているという。「バンコク伊勢丹」



19日、夜になっても炎を煙を上げる伊勢丹や8番らーめんなどが入るバンコクの大規模商業施設「セントラル・ワールド」(右奥)などの建物へ共同

繁華街の日系最大級百貨店。周辺がデモ隊に占拠され、四月三日から一カ月以上になつて閉店を余儀なくされてきた。

三越伊勢丹ホールディングス(東京)の広報担当者は「店舗に近づけず現時点の様子は確認できない。日本から出向している従業員は自宅待機状態で、安全が最優先」と話している。バンコク日本人商工会議所など、占拠

地内に事務所を持つ企業や団体も、周辺の状況確認を急ぐ。

日本大使館は十九日朝から「危険地域に残る日本人約二十世帯と連絡を取り、外出しないように訴えた。各世帯は既に食料を備蓄して事態の悪化に備えていたため大きな混乱はないという。だが、占拠地制圧後、日本人が多く住むスクンビット地区近くでもデモ隊がタイヤに火を付け、一部では停電もあった。日本企業駐在員の妻(匿名)は「家まで煙のおいが出てきた。伊勢丹はよく利用していたのでとても心配。今後どうなるのか不安です」と話していた。